



SDGs・DX… 新たな取り組みで世界の「大崎市」へ

「大崎市」という名称は、室町時代奥州探題として領国を支配していた大崎氏を由来に、合併後新たに命名されました。中心市や郡の地名ではなく、知名度が高かったため、16年間「シティプロモーション」に尽力してきました。「大崎市」という地名

任期満了に伴い今年4月10日告示された大崎市長選で、現職の伊藤康志氏が無投票で5選を果たした。2006年に1市6町が合併し、誕生した大崎市の初代市長として、まちづくりを牽引。東日本大震災をはじめとした数多くの災害も乗り越え、大崎市の発展に尽力してきた。本年11月には市発足以来の悲願であった新市庁舎の完成が予定され、まちづくりは節目を迎える。大崎市20周年に向かい、5期目の抱負や今後の重点施策について伺った。

伊藤 5期目は無投票での再選となりました。4期16年のまちづくりを評価いただきありがとうございます。思うとともに、コロナ禍で経済が冷え込む中、「現場から離れず頑張れ」という市民の思いだと受け止め、責任の重さを実感しています。気を抜くことなく、新型コロナウイルス対策と自然災害から市民の暮らしと命を守るまちづくりに全力で、取り組んでいきます。

伊藤 ハード面では日本一の自治体病院を目指し、14年に大崎市民病院を建設したほか、市役所周辺の再開発などを行い、見違えるような都会的で災害に強い、住んでみたいまちにできたとはいえます。新型コロナウイルス対策では大崎市民病院を活用したコロナ専用病床50床確保や無料のPCR検査所の開設などに取り組み、感染拡大防止に努めています。引き続き、対策を強化し安全・安心な市民生活を守っていきます。

これまでの在任期間で重点的に取り組んできたことは、

伊藤 5期目は無投票での再選となりました。4期16年のまちづくりを評価いただきありがとうございます。思うとともに、コロナ禍で経済が冷え込む中、「現場から離れず頑張れ」という市民の思いだと受け止め、責任の重さを実感しています。気を抜くことなく、新型コロナウイルス対策と自然災害から市民の暮らしと命を守るまちづくりに全力で、取り組んでいきます。

伊藤 合併以降、支所や分庁、図書館などが完成し、市役所周辺の再開発に取り組み、本丸である新市庁舎の建設は11月に完成します。「防災に強いまちづくり」は一段落したと考えています。

伊藤 国も膨らむ財政赤字などで、創意工夫で地域振興に意欲のある自治体に予算を集中投下するように努めてきました。大崎市も長所を伸ばすため、カーボンニュートラルやDXなど新しい時代の潮流に挑戦しています。5月には内閣府から「SDGs未来都市」に選定してもらったほか、DXでは出版印刷とDX推進に関する連携協定を結びました。これまでの4期16年間で災害に強い、世界に認められる大崎市の基盤に、環境問題やDXの受け皿を作り、5期目に挑もうと思っています。

伊藤 国も膨らむ財政赤字などで、創意工夫で地域振興に意欲のある自治体に予算を集中投下するように努めてきました。大崎市も長所を伸ばすため、カーボンニュートラルやDXなど新しい時代の潮流に挑戦しています。5月には内閣府から「SDGs未来都市」に選定してもらったほか、DXでは出版印刷とDX推進に関する連携協定を結びました。これまでの4期16年間で災害に強い、世界に認められる大崎市の基盤に、環境問題やDXの受け皿を作り、5期目に挑もうと思っています。

伊藤 国も膨らむ財政赤字などで、創意工夫で地域振興に意欲のある自治体に予算を集中投下するように努めてきました。大崎市も長所を伸ばすため、カーボンニュートラルやDXなど新しい時代の潮流に挑戦しています。5月には内閣府から「SDGs未来都市」に選定してもらったほか、DXでは出版印刷とDX推進に関する連携協定を結びました。これまでの4期16年間で災害に強い、世界に認められる大崎市の基盤に、環境問題やDXの受け皿を作り、5期目に挑もうと思っています。



吉田川志田谷地防災センター

伊藤 地震や豪雨など災害が多い日本において、国土強靱化は最優先事項の一つです。病院、図書館、インターチェンジなどの公共施設は守らなければなりません。在任期間中、災害に強いまちづくりに取り組んでまいりました。強靱化でさらに手厚くしなければなりません。国土強靱化計画の5カ年に限らず、高度経済成長時代に造ったインフラの老朽化や温暖化による災害の激甚化に対応するため、安定的かつ継続的なインフラ整備が必要だと考えています。

伊藤 地震や豪雨など災害が多い日本において、国土強靱化は最優先事項の一つです。病院、図書館、インターチェンジなどの公共施設は守らなければなりません。在任期間中、災害に強いまちづくりに取り組んでまいりました。強靱化でさらに手厚くしなければなりません。国土強靱化計画の5カ年に限らず、高度経済成長時代に造ったインフラの老朽化や温暖化による災害の激甚化に対応するため、安定的かつ継続的なインフラ整備が必要だと考えています。

伊藤 地震や豪雨など災害が多い日本において、国土強靱化は最優先事項の一つです。病院、図書館、インターチェンジなどの公共施設は守らなければなりません。在任期間中、災害に強いまちづくりに取り組んでまいりました。強靱化でさらに手厚くしなければなりません。国土強靱化計画の5カ年に限らず、高度経済成長時代に造ったインフラの老朽化や温暖化による災害の激甚化に対応するため、安定的かつ継続的なインフラ整備が必要だと考えています。

伊藤 1市6町が合併し、大崎市が誕生した時、市職員がパトロールをしていましたが、今ではより専門性が高い建設関連団体と協定を結び、道路や河川のバトロール、災害発生時の応急復旧などに協力してもらっています。非常時以外にも、消防団への参加や民生委員・区長など、地域のオピニオンリーダーとして貢献してもらっています。もあれば、会社としてイベントへの協賛、景勝地の美化活動など、多方面で、活躍してもらっています。これからも安全で、活力あるまちづくりを進めるため、建設関連業協会の方々、特に地元で頑張る会社には経営的にも技術的にも進化してもらうために、行政としても応援していきます。

伊藤 1市6町が合併し、大崎市が誕生した時、市職員がパトロールをしていましたが、今ではより専門性が高い建設関連団体と協定を結び、道路や河川のバトロール、災害発生時の応急復旧などに協力してもらっています。非常時以外にも、消防団への参加や民生委員・区長など、地域のオピニオンリーダーとして貢献してもらっています。もあれば、会社としてイベントへの協賛、景勝地の美化活動など、多方面で、活躍してもらっています。これからも安全で、活力あるまちづくりを進めるため、建設関連業協会の方々、特に地元で頑張る会社には経営的にも技術的にも進化してもらうために、行政としても応援していきます。

伊藤 1市6町が合併し、大崎市が誕生した時、市職員がパトロールをしていましたが、今ではより専門性が高い建設関連団体と協定を結び、道路や河川のバトロール、災害発生時の応急復旧などに協力してもらっています。非常時以外にも、消防団への参加や民生委員・区長など、地域のオピニオンリーダーとして貢献してもらっています。もあれば、会社としてイベントへの協賛、景勝地の美化活動など、多方面で、活躍してもらっています。これからも安全で、活力あるまちづくりを進めるため、建設関連業協会の方々、特に地元で頑張る会社には経営的にも技術的にも進化してもらうために、行政としても応援していきます。

伊藤 1市6町が合併し、大崎市が誕生した時、市職員がパトロールをしていましたが、今ではより専門性が高い建設関連団体と協定を結び、道路や河川のバトロール、災害発生時の応急復旧などに協力してもらっています。非常時以外にも、消防団への参加や民生委員・区長など、地域のオピニオンリーダーとして貢献してもらっています。もあれば、会社としてイベントへの協賛、景勝地の美化活動など、多方面で、活躍してもらっています。これからも安全で、活力あるまちづくりを進めるため、建設関連業協会の方々、特に地元で頑張る会社には経営的にも技術的にも進化してもらうために、行政としても応援していきます。

5期目を迎えた 伊藤 康志 大崎市長に聞く

大崎市は病院、図書館、マシソンなど都市機能が集積しています。アクセス性を高めればその強みを生かし、観光や都市機能、サービスなどを通じてほかの地域の中継地となることができる。東北地方は「みちのく」とか「奥の細道」などと言われ、道路整備がまだ不十分です。本年度、国道4号の大崎市古川荒谷、栗原市高清水豊田間で4車線化に向けた調査費が付きました。市の北側は、地盤が軟弱な三本木や雪が降る西部などとは比べ、工業団地としてポテンシャルが高い地域です。アクセスが改善された暁には物流拠点などを誘致できるような整備を進めていきたいと考えています。

大崎市長プロフィール

伊藤 康志 (いとう やすし)
1949年生まれ、72歳。
1987年に宮城県議会議員に初当選し、5期を務めた後、2005年に県議会議長に就任。06年に初代大崎市長に当選してから第5期目の市政運営に当たる。
座右の銘は「耕不尽」(耕せども尽きず)。



大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

大崎市を流れる鳴瀬川水系の河川はたびたび水害に見舞われています。

AQUANET 協業組合 アクアネット
代表理事 佐藤 政志
大崎市古川桜ノ目字新高谷地526番地
TEL.0229-28-3734/FAX.0229-28-3739

未来の環境をデザインする
岩見田・設計
所長 長野 利幸
東北事務所/仙台市青葉区通町2丁目5-28 アクス通町ビル4階
TEL.022(342)8680 FAX.022(343)0210

建設・土木コンサルタント
株式会社 エフワーク
代表取締役 畑山 春夫
本社/宮城県大崎市古川恵波4丁目11-1
TEL.0229(23)0462 FAX.0229(87)3228
仙台技術事務所/仙台市青葉区北目町1-18(ピースビル北目町6F)
TEL.022(212)3318 FAX.022(212)3142

鉄筋コンクリート戸建住宅 「イイミライエ」
株式会社江村工務店
Emura Corporation co.
- architect office -
宮城県大崎市田尻字町184番地4
TEL.0229-39-1434 FAX.0229-39-1586

大崎電業株式会社
代表取締役 齊藤 勲
宮城県大崎市古川駅東2丁目1-8
TEL.0229(22)2025 FAX.0229(22)2024

KANAHARA
civil engineering & architecture
株式会社 金原 土建
代表取締役 金原 知宏
〒989-6155 宮城県大崎市古川南町1丁目6-11
TEL.0229(22)1666(代) FAX.0229(22)1665

【廃棄物総合プラント・特定建設業】
【環境省認定 優良評価基準適合】
環境開発公社エムシーエム
代表取締役 本郷 輝朗
本社・工場/大崎市古川北宮沢字朴木欠丙6番地1
TEL.0229(29)2228 FAX.0229(29)2225

KUME SEKKEI 久米設計
代表取締役社長 藤澤 進
東北支社 安田 孝
〒980-0021 仙台市青葉区中央3-10-19 仙台KYビル TEL (022) 266-1431
東京 札幌 東北 横浜 名古屋 京都 大阪 九州 沖縄 上海 ハノイ ホーチミン シンガポール

今埜建設株式会社
代表取締役 今埜 一郎
大崎市古川下中目字盲瀬18
TEL.0229-21-8953/FAX.0229-87-3601

土木建設・設計施工
株式会社 笹原組
代表取締役 遠藤 康之
〒989-6116 宮城県大崎市古川李埜字道祖神4-2
TEL.0229(23)8257 FAX.0229(22)2725

＝耐震補強・防水・調査・建物改修工事＝
有限会社 サンタック
代表取締役 照井 康生
〒989-6225 宮城県大崎市古川塚目字屋敷288番地の1
TEL.0229(22)3049 FAX.0229(22)0843
E-mail:sntk@tradewind.or.jp

これまでも、これからも、確かな技術で
総合電気設備工事設計施工 伸晃電設工業(株)
代表取締役 佐藤 文利
〒989-6145 宮城県大崎市古川北稲葉3丁目13-26
TEL 0229(24)0542 FAX 0229(24)0508

SUGAJIN 菅基建設株式会社
代表取締役 菅原 伸介
〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字川渡75-4
TEL.0229(84)7211 FAX.0229(84)7212

地域と共に 新しい明日を築く
株式会社仙北建設
代表取締役 高橋 克幸
大崎市古川中里3-9-18 TEL.0229-23-7722
E-mail:senpoku@senpoku.net

株式会社 仙北設備工事
代表取締役 高橋 伸嘉
宮城県大崎市古川大宮8丁目6-16
TEL.0229(23)6674 FAX.0229(23)6687

保温・保冷・板金
宮城県知事許可(般-2)第8309号
仙北保温工業株式会社
代表取締役 中川 光
〒989-6203 宮城県大崎市古川飯川字屋敷217-1
TEL.0229(26)3055(代) FAX.0229(26)4138
Eメールアドレス senpukudesk@minos.ocn.ne.jp

株式会社 ダイマル
代表取締役 菊地 紳太郎
宮城県大崎市古川十日町9-25
TEL.0229(22)1221 FAX.0229(24)1221

大和ハウス工業株式会社
仙台支社 執行役員支社長 渡辺 靖彦
〒981-3133 仙台市泉区泉中央3丁目8番地の1
TEL.022(375)5111
東北工場 工場長 和田 高志
〒989-6251 大崎市古川小野字中蝦沢133番地
TEL.0229(28)1603

株式会社 綱田電気工事
代表取締役 綱田 武則
宮城県大崎市古川北稲葉2丁目12番1号
TEL.0229(23)6757 FAX.0229(23)6738

夢、かぎりなく。
HASHIMOTO
総合建設業 創業明治11年 144周年
株式会社 橋本店
代表取締役社長 佐々木 宏明
本社 仙台市青葉区立町27番21号 ☎022-714-7020

株式会社 富士電工
代表取締役 門脇 基
宮城県大崎市古川南新町7-46 TEL0229-22-2648(代)
http://www.fujidenko.jp

道のある風景を創ってます。
株式会社 富士土木
代表取締役 山村 徳洋
〒989-6132 宮城県大崎市古川米袋字堤内9-1
TEL.0229-23-4367 FAX.0229-24-3576
http://www.fujidoboku.com

創業 昭和47年・・・「総合不動産」「総合建設」
株式会社 古川土地
代表取締役 早坂 竜太
本社/大崎市古川駅前大通2丁目6番16号
(不動産営業部) TEL0229-23-8484
■建設事業部/大崎市古川鶴ヶ崎字新江北125番地1
TEL0229-23-1192

各種伐倒工事一式・一般建設業・宮城県知事許可 第14771号
針広重割バルブ材・一般建築材・ケヤキ等銘木材・土木用杭材販売
株式会社 松山産業
〒987-1304 宮城県大崎市松山千石字南亀田205-1
TEL(0229)55-4520 FAX(0229)55-4570

人・街・くらし 明日のコーディネーター
MURATA CORPORATION
株式会社 村田工務所
代表取締役 村田 秀彦
本社 宮城県大崎市古川江合錦町2丁目6番1号 〒989-6104
TEL.0229(24)1500 FAX.0229(24)1511
http://www.murata-koumusyo.com

MEIDEN
Quality connecting the next
株式会社 明電舎 東北支店
支店長 加藤 正則
〒980-6007 仙台市青葉区中央4-6-1 (SS30)
TEL.022(227)3231 https://www.meidensha.co.jp

総合建設業
株式会社 森建設工業所
代表取締役 森 正則
宮城県大崎市古川下中ノ目字小袋155番地
TEL.0229(23)8880 FAX.0229(23)7674
E-mail:kmoriken@if-n.ne.jp

RYOKI 菱機工業株式会社
執行役員 東北担当 仙台支店長 小島 正巳
仙台市宮城野区扇町5丁目9番13号
TEL.022-232-3711 FAX.022-231-9447

YKK AP株式会社
東北支社長 安田 典生
仙台市青葉区本町2-9-7 仙台YFビル4F
TEL.022(224)4134(代表)

ISO9001:2015認証取得/みちのく環境管理規格認証
我妻建設株式会社
代表取締役 我妻 孝
大崎市古川小野字馬場25-1 TEL 0229-28-2639 / FAX 0229-28-2500
https://wagatsuma-kk.com